

「イケアとURに住もう。」に新プランが登場

～谷津パークタウン壱番街（千葉）にキッズルーム付きの子育てしやすいお部屋が登場！～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）はイケア・ジャパン株式会社（イケア）と全国で実施している「イケアとURに住もう。」の令和3年度新プランを決定し、千葉県「谷津パークタウン壱番街」にて、令和4年3月中旬より入居者募集を開始いたします。

新プランは、広々としたウォークインクローゼットや、小さいお子様がいても安心して暮らせる設備を採用し、家族で過ごす時間や、日々の暮らしや出来事を大切にしたいくなる住まいを追求した住戸です。

今後も、UR都市機構はイケアとサステナブル・リビング「気軽に変化を楽しむ暮らし」をコンセプトに住戸の提案を行ってまいりますので、ご期待ください。

【モデルルーム 記者内覧のご案内】

「イケアとURに住もう。」の新プラン住戸の取材を希望される場合は、随時受け付けておりますので、UR都市機構までお問い合わせください。



リビングダイニング



キッズルーム

【本件に関するお問い合わせ先】

●UR都市機構

広報室広報課 担当 奥水・田之畑

（電話）045-650-0887

住宅経営部営業推進課 担当 村田・中張

（電話）045-650-0736

1. 今回新規募集する団地・プラン（1団地1プラン）のリデザイン住宅

	団地	所在地	型式	床面積 戸数	特徴
千葉	谷津パーク タウン壱番 街	習志野市 谷津3-1	3LDK+S	71.00㎡ 1戸	 <p>【スカンジナビアンモダンスタイル】 オーク調の家具や観葉植物などにマッチするシックで落ち着いたデザイン。アースカラーの壁面はアクセントとしてリビングに個性をもたらしてくれます。</p> <p>【小さいお子様がいても安心して暮らせる設備】 キッズルームは抗菌仕様の和紙畳を使用した和室にし、リビングのドアにはソフトクローザー、お部屋内のコンセントはシャッター付きものを採用するなど、子育てしやすい環境が整っています。</p>

※募集住戸には、調度品等家具小物は、含まれません

2 住戸募集スケジュール

	団地名 (所在)	住戸募集期間 募集方法	募集予定 戸数	型式
千葉	谷津パークタウン壱番街 (千葉県習志野市)	3月中旬～ 先着順	1戸	3LDK+S

※募集スケジュールや受付方法等の詳細は、UR都市機構「イケアとURに住もう。」サイトをご確認ください。 https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

「イケアとURに住もう。」プロジェクトについて

1 プロジェクトのご紹介

豊富に取りそろえたホームファニッシング製品（家具からテキスタイルに至るインテリア全般）を通じて、世界中の家庭へ快適な暮らしの提案を続けているイケアと、住まいを通じて日本の家族の暮らしを見守り続けてきたUR都市機構が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」に着目し、お客様が賃貸住宅で、より環境に優しく、気軽に変化を楽しみながら、豊かに暮らし続けていただけることを目指したプロジェクトです。本取組は40団地で展開をしております。

◆「イケアとURに住もう。」サイト

https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

2 本取り組みのコンセプト「サステナブル・リビング」

グローバルに企業活動を行うイケアが、今強く意識しているのが「サステナビリティ（持続可能性）」。「People & Planet Positive」（ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ）のコンセプトのもと、「よりサステナブルな暮らしを提供する」、「エネルギーと資源に依存しない」、そして「地域社会により快適な暮らしを提供する」の3つの分野を中心に、環境と社会にポジティブな影響を与えたいと考えています。今回の「サステナブル・リビング」でUR賃貸住宅に導入したキッチンや商品においても、再生可能素材をできるだけ使い、家庭で省エネや節水、ゴミの削減やリサイクルを簡単に、しかもお手ごろに実践できるように考えております。また、その供給過程においてもサプライヤーが環境に与える影響を最低限に抑制する方針を採っております。

一方、UR都市機構は、全国約1,500団地、約71万戸の豊富なバリエーションと豊かな屋外環境を誇るUR賃貸住宅で、ライフスタイルの多様化に対応するため既存の住宅に新しい価値を付加するリノベーションや、団地を再生する各種事業等により既存ストックの有効活用を推進しているほか、家族構成の変化等によるUR賃貸住宅内の住み替えや親族同士の近居等をサポートし、賃貸住宅でありながら、ライフスタイル、ライフステージの変化により住み替えが必要となる場合でも、生活環境やコミュニティが持続できるよう取り組んでいます。

人々の暮らしに深く関わってきた両社が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」の視点で「お客様に負担をかけずお客様の生活をより豊かにする」、「環境やお客様のコミュニティを大切にする」という点に注目したのが、今回の「サステナブル・リビング（持続可能な暮らし）」です。